

平成 24 年度

自然エネルギー東御地域協議会

- 事業計画書 -

○活動方針

自然エネルギーの利用に関し、地域住民の意識・関心がますます高まるなか、東御市内において地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及および自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりに向けて、市民・団体・企業・行政が協働して、下記の活動をすすめていきます。

- ① 東御市内の自然エネルギーに関連する市民・団体・企業・行政間の対話促進
- ② 上記の協働による市民への普及啓発活動
- ③ 自然エネルギー普及モデル事業構築のための調査検討
- ④ 地域と連携したパイロット事業の実施および支援
- ⑤ その他、上記の活動を達成するために必要な活動

○重点事業

【ソーラー部会】

1) 太陽光を主にした学習会の開催

- ・9月より市内5地区へ出前講座方式で開催する。
- ・「エネルギーの自家発電・自家消費」をテーマとして、更なる普及啓発に努める。
- ・固定買い取り制度をはじめとした最新情報や設置後の採算性を理解していただく他に、子供向けの体験コーナーを設け幅広い皆さんを対象とする。
- ・既に設置された皆さんからの生情報を積極的に取り入れるとともに、太陽光発電コンテストなどを計画し、市民参加型の取り組みを目指す。

2) メガソーラー発電システムの視察

- ・会員を主として視察見学を実施し、設置までの経過や地域の現状を学び、本市での可能性を研究し、県や市、発電事業者へ提案できるまでの内容としていく。

3) 地域グリーン電力証書の導入検討

- 先進的、または、モデル的に行った実績のある地域について学習し、本市での可能性を研究する。

【バイオマス・小水力部会】

1) 情報交換会や学習会の開催

- 太陽光と比べてなじみの薄い、バイオマス、小水力というテーマをより身近なものとするため、また、法的な制約についても触れるなど様々な学習会を計画する。
- 薪ステーションを立ち上げ、里山整備体験のほか、薪づくりや販売などを通じて環境学習会を開催する。

☆情報

「東御市の小水力発電の可能性を考える会」

- 日時 8月19日(日) 午後1時30分から
- 場所 横堰公民館 電話：64-5968
- 講師 信州大学工学部 池田名誉教授・特任教授
- 内容 ①小水力発電の可能性(講演)
②現地視察(横堰地区農業用水路)
③意見交換会(横堰公民館)

2) チップボイラーの導入研究

- 現在は石油やガス等の化石燃料に頼っているが、CO₂排出削減や燃料費削減のため、廃材等を利用した木材チップを燃料とする「チップボイラー」を試作開発して、実用化・商品化を研究する。
- 市内温泉施設や介護施設の給湯ボイラーへ導入を検討し、新たな地域産業の可能性を研究する。
- 同時に、循環型社会意識を高めるよう情報発信をしていく。